



VENUE[®] | S6L

The perfect system for any stage

VERSION 2020

VENUE® | S6L

ライブ・サウンドを次なる次元へ



● S6L-32D

2005年春、
革新的な機能を搭載して
世界発表されたVENUEシステム
(D-Showシステム)は、ライブ・サ
ウンドの世界に大きな衝撃を与えました。そ
れはスタジオでは常識のオンボード・プラグインを
ライブ・コンソールとして初めて使用に耐えうるレベルに
昇華させ、革新的なDAW (Pro Tools HD及びLE 注：当時の
呼称)との統合は、新たにヴァーチャル・サウンド・チェックという言
葉を産み出しました。その機能性の高さと先進性、エンジニアに対する親和
性、そしてシステムの堅牢性は、デジタル・ライブ・サウンド・コンソール市場に於
いてAVIDの地位を世界的に確立し、デジタル・コンソールの市場の潮流を大きく変えまし
た。そして、VENUEコンソールとPro Tools | HDシステムとの組み合わせでリリースされたCDや
DVD、配信は、世界でも日本でも枚挙に暇がありません。

その後も D-Show / Profileシステム、 Mix Rackシステム、SC48、SC48リモート・モデルなど、リリースされたVENUEシリーズは、瞬刻間に世界各国のコンサート・ツアー、大規模フェスティバルに於いて最初にオーダーされるファースト・チョイスのライブ・サウンド・コンソールとなり、その圧倒的な影響は音楽を主とする設備市場にも及びました。

そして今、AVID VENUE | S6Lは、この歴史的資産を背景に完全なモジュラー・構造としてコンポーネントを更に拡大。コントロール・サーフェス、プロセッシング・エンジン、ステージ・ボックス及びネットワーク・オプションを使用環境に応じて自由に組み合わせることが可能で、それらを統括するVENUE システム・ソフトは、旧モデル含む全てのVENUEシステムを統合する比肩無きソフトウェアです。

更に従来のAAXプラグインに加えて、WAVESプラグインにもWSG-HDカードとSoundGrid Server、SoundGrid Rack for VENUEを用いる事で完全対応。旧PROFILEで作成されたWAVESプラグインが大量にインサートされたSHOWファイルであろうと完璧に再現出来ます。勿論、AVB経由の128トラックにわたる Pro Toolsレコーディング/プレイバックは、96KHzのハイレゾ仕様となり、MADIカードを装填すれば収録の冗長化までも 96KHz もしくは48KHzのサンプル・レートで可能となります（48KHzのMADI出力は、Stage64/32のみで可能）。

それらに加えて、2018年秋には最新サーフェイス2種類、エンジン1種類、ステージボックスも2種類追加され、ニーズに応じて更に自由なプランが可能になり、拡張性とファイルの互換性は市場にあるデジタル・ライブ・コンソールの中でも最高峰のレベルです。

これらの機能性と先進性、互換性、ツールとしての一貫性そしてそのワールド・ツアー・クラスの圧倒的なサウンド・イメージは、エンジニアの感性をも刺激し、クリエイティブなトップ・エンジニアのライブ・ミックスを次のステージに更に押し上げます。



● S6L-24D 背面



ライブ・ミックスをディープかつインテリジェントにコントロール

物理フェーダーが、16フェーダーから48フェーダーまで選択可能なコントロール・サーフェスは、最先端のライブ・サウンド・ワークフロー向けに慎重にデザインされており、FOH/モニター問わず、ミックスに必要なパラメータへすばやくアクセスできます。高解像度有機ELディスプレイとメーターがもたらす豊富なビジュアル・フィードバックは、晴天時の野外環境下でも情報を視認できます。更に、インタラクティブなタッチ・スクリーンの採用により、包括的なメータリング、パラメーターの選択とコントロールがサーフェスから直接行え、本体中央部のユニバーサル・スクリーンからは各入力、AUX、GRP、VCA、MUTEに素早くアクセスすることができます。

ライブ・サウンド市場に於いて最もパワフルなプロセッシング・エンジン

ブロードウェイからブロード・キャスト、Web TVに至るまで、ライブ制作はこれまで以上に多岐に渡り、更に複雑になり、アリーナクラスでは100chを超えるチャンネル数と多くのバスを必要とします。3種類の中から選択可能なVENUE | S6Lエンジンは、リアルタイム・プロセッシング・エンジンとDSPエンジンの2種のパワフルなテクノロジーを内包。リアルタイム・プロセッシング・エンジンは、ルーティングをはじめとするミキサー根幹の機能を管理しコンソール基本部のパワーを提供。Pro Tools HDXと同じ、HDXエンジンを根源とするDSPエンジンは、最大200個のAAXプラグイン・プロセッシング全てを管理。これにより堅牢で優れたサウンドを提供出来ます。

最新デバイスを用いた I/O で限りなくクリーンなサウンドを実現

4種類となった I/O ラックは、FOH-STAGE間の伝送を考慮して拡張可能。従来のStage 64用の入出力カードを流用出来るStage 32をFOH側に追加すれば、FOH側でRFやSEQなどの入力を従来の8ch以上に拡張可能で、デジタル・スネークもCAT5eもしくは、光ファイバーが利用可能です。Stage 32のサウンド・キャラクターは、Stage 64と同一のI/Oカードを使用する為に、クリスタル・クリアかつウォームで広大なサウンド・イメージを提供します。

拡張プラグイン・プロセッシングでさらに創造的に

プラグイン・エフェクト処理は、64-bit AAX DSPで処理され、これは Pro Tools | HDXと同一です。つまり、スタジオ・ワークで使用されたプラグインをライブ・サウンド環境でも同一に扱え、WAVES プラグインにも完全対応しました。WSG-HDオプション・カードとWAVES SoundGrid Server、そして、SoundGrid Rack for VENUE によるS6Lとの完全統合はSnapshot機能でトータル・リコールも容易な上、過去のPROFILEで作成されたデータも完全に再現します。

圧倒的なまでの拡張性

モジュラー式でスケラブルな構造により、コントロール・サーフェス、エンジン、I/Oを自由に選択して組み合わせることが可能です。その為、ツアー・サウンドのみならず、設備に至るまでの、あらゆるライブ・サウンド用途に柔軟に対応します。サーフェイスは、プロダクション、スペースのニーズに合わせて、5種類のS6Lコントロール・サーフェスから選択可能。必要なチャンネル数とバス数に対応する最適なE6Lエンジンを選択して下さい。また、ステージ・ラックは一つまたは複数台を接続して、16ch入力から最大数百チャンネルの入力と最大96+LCRのバスを駆使してミックスを展開できます。

Pro Toolsで大規模なショーをレコーディング&サポート

VENUE | S6Lは、業界最高レベルのパワフルな統合型ライブ・レコーディング機能を提供します。Stage Rackに入力された音声信号はマイク・プリアンプ経由後自動的にスプリットされ Pro ToolsへAVBまたはMADIにて送出されます。収録されたデータはバーチャル・サウンドチェック機能を用いて、ミックスの修正や、スナップ・ショットの変更、プラグインの補正や入れ替えなどを行うことができ、サウンド・チェックとセットアップにかかる時間を大幅に短縮することが可能。また、VENUE Link機能を用いれば、100chを超えるインプット・チャンネル・ネームを自動的にProToolsに展開。加えてスナップ・ショットとPro Tools上のメモリー・ロケーションは完璧にリンクし、S6Lのスナップ・ショット・ボタンを押すだけで、ProToolsは、指定されたポジションからシーケンス・データを再生します。2005年の時点で先進のライブ・マルチ・トラック収録を可能にしたVENUEシステムは現在もお最高峰の親和性をもってDAWと統合され、その地位は未だ揺るぎません。

完全に自由な接続性

VENUE | S6Lは、すべてのコンポーネントにオープンで信頼性の高いEthernet AVBネットワークを採用しています。デジタル・スネーク長が100メートル以内の場合は、軽くて安価な Cat5eケーブルを利用可能。アリーナやドーム・クラスの大規模会場でFOHとStage間に100m以上の引き回し距離がある場合は、光ファイバーを利用する事で最長500メートル迄（マルチ・モード時）の長距離伝送にも対応します。またS6Lシステムは、近年流行のDanteネットワーク、そして、スタジオ機材には標準のMADI入出力にもオプションで対応しており、導入先の環境に応じてシグナルの受け渡しが可能です。

複数のシステムでI/Oを共有

ステージでのアナログ・スプリットに悩まされる必要はもうありません。S6Lなら、オーディオ・クオリティを損なうことなく、ネットワーク接続された複数のS6LシステムでI/Oを簡単にシェアできます。Avid True Gain™テクノロジーは、各エンジニアの入力信号レベルが正しくなるよう、自動的にゲイン補正を管理します。スプリッター、I/O、そしてマルチ・ケーブルの数を減らすことでトランスポートのコストを大幅に低減し、セットアップに掛かる時間もセーブ可能で、収録に2ミックスやバラ出力が必要な場合は、MADIを用いてS6Lに入力されたマイクロフォン・シグナルを自動分岐して出力する事も可能です。

使い慣れたVENUEソフトウェアでミックス

黒が基調の視認性高いモダンな外観となったVENUE | S6Lシステムは、Avidの従来ライブ・サウンド・システム同様、操作性に優れたVENUEソフトウェアを継承しており、VENUEシステムを経験されたエンジニアならば、従来通りの効率良いミキシングとセットアップが可能です。さらに、S6Lでは従来のPROFILEやSC48システムのVENUEショー・ファイルを読み込むことができるため、セットアップ時間を大幅に短縮できます。また、ショー・ファイルは従来通りのコンパクトなデータの為、フェスティバルに於いても今まで通りメールにてショーファイルのやり取りが可能です。

安定の信頼性

世界各国での大規模なワールド・ツアー、フェスティバル、インストレーションで採用されているVENUEシステムは、最大限のサービスと信頼性を提供すべくデザインされており、最新のVENUE | S6Lも例外ではありません。ツアーでのハードな扱いにも耐えうる堅牢な構造、各コンポーネントに搭載された冗長化電源と、冗長化ネットワーク構成、そしてワールド・クラスのサポート体制が、ショーの確実な実現を支援します。事実、2005年に発売開始したVENUE | S6Lシステムは、2019年時点でも未だにリクエストされるデジタル・コンソールであり、大規模フェスティバルでは今でも必須のコンソールです。その堅牢性と信頼性の高さはS6Lも確実に受け継がれています。



VENUE® | S6L

VENUE | S6L コントロール・サーフェス

S6Lシステムは、現場の規模に応じて5種類のサーフェスから選択することができます。



● S6L-24D



● S6L-48D

● S6L-16C

● S6L-24C

コントロール・サーフェス	VENUE S6L-48D	VENUE S6L-32D	VENUE S6L-24D	VENUE S6L-24C	VENUE S6L-16C
日光下でも視認可能な 12インチ・タッチスクリーン	マスター・タッチスクリーン x 1、 チャンネル・タッチ・モジュール x 5	マスター・タッチスクリーン x 1、 チャンネル・タッチ・モジュール x 3	マスター・タッチスクリーン x 1、 チャンネル・タッチ・モジュール x 2	マスター・タッチスクリーン x 1	なし (外部タッチスクリーン要)
フェーダー	48 + 2	32 + 2	24 + 2	24 + 2	16 + 2
ノブ・モジュール、 高解像度OLEDと 3色インジケータを搭載	チャンネル・ノブ・モジュール x 5に わたってアサインブル・ノブ x 160	チャンネル・ノブ・モジュール x 3に わたってアサインブル・ノブ x 96	チャンネル・ノブ・モジュール x 2に わたってアサインブル・ノブ x 64	チャンネル・ノブ・モジュール x 1に わたってアサインブル・ノブ x 32	チャンネル・ノブ・モジュール x 1に わたってアサインブル・ノブ x 32
マスター・ライブ・モジュール	TFT (ソフト・ボタン付属)、タッチ&ターン・アサインブル・エンコーダー、アサインブル・フェーダー x 2、モニタリング、レイアウト、スナップショットの各コントロール、トランスポート・コントロール、ファンクション・ボタン				
メーター	各チャンネルに30セグメント・メーターおよびプリフェーダーとポストフェーダーのメータリング・オプション、ノミナル・インジケータ、 エキスパンダー/ゲート・ステータス、コンプレッサー/リミッター・ゲイン・リダクション・メーター				
アナログ入力	XLRマイク/ライン入力 x 8、48Vおよび信号LED				XLRマイク/ライン入力 x 1*
アナログ出力	XLR出力 x 8、48Vおよび信号LED				XLR出力 x 2*
デジタル入力	XLRステレオAES/EBU x 4ペア (計8チャンネル)				なし
デジタル出力	XLRステレオAES/EBU x 4ペア (計8チャンネル)				なし
ヘッドフォン出力	¼" TRSステレオ・ヘッドフォン端子 x 2				¼" TRSヘッドフォン端子 x 1
補助 I/O	DVI-Dビデオ出力、USB 2.0 x 5 (前面2、背面2、内部1)、ECx Ethernetポート (有線/無線リモート・コントロール用)、GPIO (8イン/8アウト)、フットスイッチ x 2、リニア・タイム・コード入力、MIDI I/O				
Ethernet AVBポート	etherCON x 2 (銅)、etherCON (銅) またはSFP (ファイバー) として選択可能 x 2、冗長リング・トポロジー				
電源	デュアル冗長、内部ホットスワップ可能PSU			内部デュアル冗長**	
高さ (前面、背面)	91 x 388 mm (3.6 x 15.3インチ)			91 x 205 mm (3.6 x 8インチ)	
幅	1,934 mm (76.1インチ)	1,304 mm (51.3インチ)	989 mm (38.9インチ)	989 mm (38.9インチ)	671 mm (26.4インチ)
奥行き	787 mm (31インチ)				
重量	近日公開	70 kg (155ポンド)	54 kg (119ポンド)	42.3kg	近日公開

★Local 16ラックは追加のローカルI/Oを追加供給できます。 ★★ S6L-24Cおよび16Cの電源部は、S6L-48D、32D、24Dコントロールサーフェス電源部、またはE6L-192、144エンジン電源部と同一仕様ではありません。

VENUE | S6L エンジン/オプション

S6Lシステムは下記の3種類のエンジンから現場規模に応じたエンジンを選択可能です。*

● E6L-192/144 背面（下写真は標準仕様の状態）



● E6L-112 背面（下写真は標準仕様 + WSG-HD カード装着状態）



エンジン	VENUE E6L-192	VENUE E6L-144	VENUE E6L-112
サンプル・レート	96 kHz		
入力チャンネル	192	144	112
入力処理	HPF、LPF、4バンドPEQ、エキスパンダー/ゲート、コンプレッサー/リミッター、ディレイ、プラグイン・インサート x 4、ハードウェア・インサート		
ミックス・バス	96 + LCR	64 + LCR	48 + LCR
出力処理	7バンドPEQ、コンプレッサー/リミッター、ディレイ、プラグイン・インサート x 4、ハードウェア・インサート		
マトリックス	24 x 24	16 x 16	16 x 16
VCAs	32	24	24
ステレオ・ソロ・バス	2、独立コントロール付属		
グラフィックEQ (31バンド)	32		
デジタル・シグナル・プロセッシング	プラグイン・プロセッシング用に最大4基の HDX-192 DSP拡張カードに対応、カード x 1同梱	プラグイン・プロセッシング用に最大2基の HDX-192 DSP拡張カードに対応、カード x 1同梱	プラグイン・プロセッシング用に1基の HDX-192 DSP拡張カードに対応 (同梱)
プラグイン・サポート	64-bit AAX DSP、VENUE WSG-HD オプション・カード経由 (フル統合) またはMADI経由でWaves SoundGridシステムにも対応		
プラグイン・スロット	200	125	100
Pro Toolsとの統合	Ethernet AVB経由で最大128のオーディオ・トラックを録音/再生		
拡張オプション・カード・スロット	最大4	最大4	最大2
Ethernet AVBポート	2ポートのAVB-192 Ethernet AVBネットワーク・カード1基、etherCON (銅) またはSFP (ファイバー) を選択可能、冗長リング・トポロジー (2基のAVBカードに対応、3基のAVBカードに近日対応予定)		
I/O共有	最大3基のStage 64および4基のStage 16ラックに対応——計最大192入力、使用されるE6Lエンジンによる (I/O共有にはAVB-192 Ethernet AVB Network カード 2基が必要です)		
ワード・クロックI/O	BNC、75Ω同軸		
USBポート	USB 2.0ポート x 5 (背面 x 2、前面 x 2、内部 x 1)		
電源	N+1冗長、内部ホットスワップ可能PSU		内部デュアル冗長**
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	218 x 430 x 483 mm (8.6 x 16.9 x 19インチ)		
ラックスペース	5U		
重量	33 kg (74ポンド)		

*オプション・カードは別売です。各システムには付属しておりません。 **E6L-112電源は、S6L-48D、32D、24Dコントロールサーフェス電源、またはE6L-192、144エンジン電源と互換性がありません。

I/O ラック

現場のニーズにマッチする、4つのステージ・ラックとローカルI/Oラックを規模に応じてお選びいただけます。



● Stage 64 (48/8仕様)



● Stage 32 (24/8仕様)

● Stage 16



● Local 16



I/O ラック	Stage 64	Stage 32	Stage 16	Local 16
最大I/O	Stage 64ラック1基で64入力チャンネル/ 32出力チャンネル@ 96 kHz、 Stage 64ラック3基 (各64入力/32出力) で 最大192入力/96出力に対応 (使用されるE6Lにより異なる)	Stage 32ラック1基で計32入力/ 出力チャンネル@ 96 kHz	16 x XLRマイク入力/プリアンプ、 8 x XLRライン出力、 4チャンネル x AES3出力	8 x XLRマイク/ライン入力、8 x XLR出力、 4ペア x XLRステレオAES/EBU入力 (計8チャンネル)、 4ペア x XLRステレオAES/EBU出力 (計8チャンネル)
I/Oカード・スロット	12	4	n/a	n/a
サンプル・レート	96 kHz	96 kHz	96 kHz**	96 kHz
Ethernet AVBポート	2、etherCON (銅) またはSFP (ファイバー) として選択可能 x 2、冗長化リング・トポロジー		2 x ギガビットEthernet AVBポート	
ケーブルの最大長	銅: 100 m (328フィート)、ファイバー: 500 m (1,640.4フィート)		100 m (328フィート)	
MADI	デュアルMADI出力が64入力すべての ダイレクト・スプリットを提供	シングルMADI出力が最大32入力の ダイレクト・スプリットを提供	n/a	n/a
ヘッドフォンモニター	1/4" TRSステレオ端子 (ボリューム・コントロール付属)、 チャンネル選択用ディスプレイ装備	n/a	n/a	n/a
ワード・クロックI/O	BNC、75Ω同軸	n/a	n/a	n/a
電源	デュアル冗長化内部PSU	デュアル冗長化内部PSU	シングル内部PSU	デュアル冗長化内部PSU
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	445 x 432 x 310 mm (17.5 x 17 x 12.2インチ)	220 x 470 x 480 mm (8.7 x 18.5 x 18.9インチ)	175 x 483 x 206 mm (6.9 x 19 x 8.1インチ)、 耳/ハンドルを含む (ラックマウント構成)	132 x 442 x 278 mm (5.2 x 17.4 x 11.0インチ)、 耳/ハンドルを含む (ラックマウント構成)
ラックスペース	10U	5U	4U	3U
重量	31 kg (69ポンド)	22Kg	7.1 kg (15.8ポンド)	6.2kg

★ オプション・カードは別売です。各システムには付属していません。 ★★ VENUE | S6Lに接続する場合は—VENUE | S3L-Xに接続する場合は48 kHzで動作

I/O ラック用オプション



● SRI-192

Stage64及びStage32の入力拡張に使用する8chアナログ・マイク入力カードです。ADCには216kHz迄のサンプル・レートに対応するAKM製AK5388AEQを採用。120dBのDレンジを誇ります。



● DSI-192

Stage64及びStage32の入力拡張に使用する4ch AES入力カードです。サンプル・レート・コンバーターを搭載し、CD(44.1K)のAESシグナルもダイレクトに入力可能です。WORD出力装備。



● DNT-192

Stage64及びStage32の入出力拡張に使用するDANTE用入出力カードです。Stage64の場合は装着する位置で、Stage32の場合はソフト上で、16入力/8入力+8出力/16出力を切り替えます。



● SRO-192

Stage64及びStage32の出力拡張に使用する8chアナログ・ライン出力カードです。DACにはDSDシグナルをダイレクトに扱える32-bit対応のAKM製AK4414EQを採用。平衡回路はAD社SSM2142です



● DSO-192

Stage64及びStage32の出力拡張に使用する4ch AES出力カードです。a-dat用光出力も搭載しています。AES出力のサンプル・レートは、96kHzとなります。

E6L エンジン用オプション



● AVB-192

S6LのAVBネットワークを拡張するオプション・カードです。E6Lには1枚のAVBカードを標準装備。尚、2019年秋以降のモデルには2枚のAVBカードを標準装備しています。使用されるコンフィグレーションに応じて、AVB-192が2枚必要になる場合があります。



● MADI-192

E6Lエンジンに装着して利用します。64MADIに対応。サンプル・レートは96kHzとなります。本カードを用いる事で、MADIを利用したバーチャル・サウンド・チェックも可能になります。



● WSG-HD

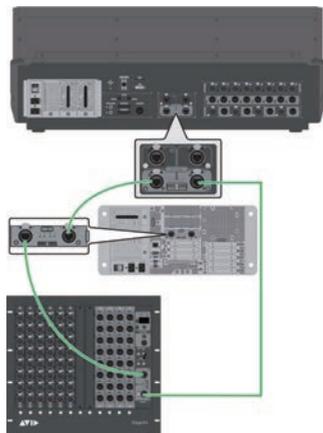
E6Lエンジンに装着して利用します。WAVES SOUNDGRIDに対応。本カードとWAVES社のSERVER及びVENUE用MULTI RACK SOFTを用いる事で、WAVESプラグインに完全対応可能です。

S6L ワークフロー



コンフィグレーション

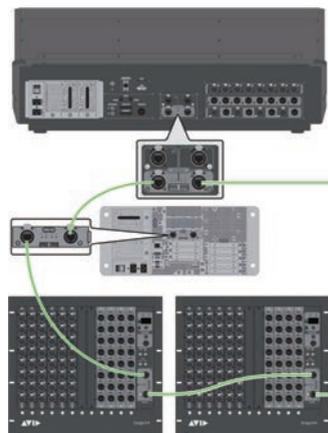
■ Config#1



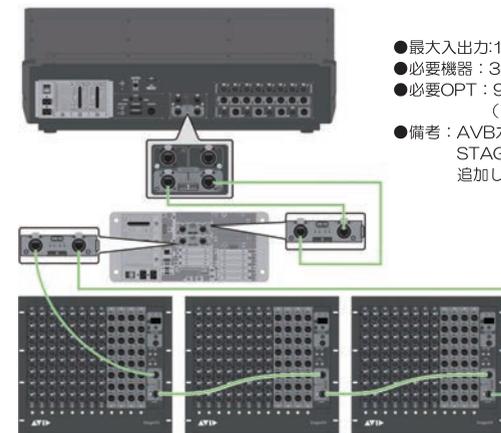
- 最大入出力:64入力+32出力
- 必要機器: STAGE64+2xSRIカード (もしくはDSIカード) 3xSROカード (もしくはDSOカード)
- 備考: AVBカードは1枚のみで動作

- 最大入出力:96入力+64出力
- 必要機器: 2台のSTAGE64 6xSROカード
- 備考: AVBカードは1枚のみで動作 但し、STAGE64は1台あたり48ch仕様のみ

■ Config#2



■ Config#3



- 最大入出力:192入力+96出力
- 必要機器: 3台のSTAGE64
- 必要OPT: 9xSROカード (もしくはDSOカード)
- 備考: AVBカードは2枚必要 STAGE64はSRIを2枚ずつ追加し、64入力仕様



VENUE | S6L-24D

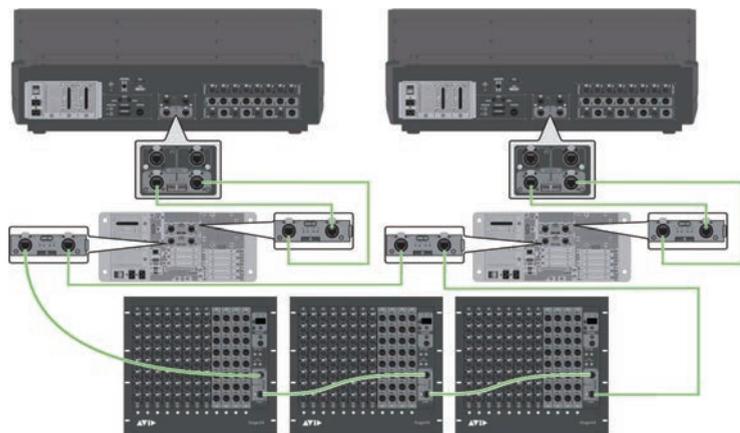


VENUE | S6L-24C



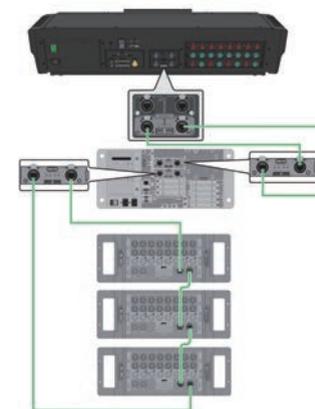
VENUE | S6L-16C

■ Config#4



- 最大入出力:192入力+96出力
- 必要機器:3台のSTAGE64
2台のE6L
- 必要OPT:9xSROカード
(もしくはDSOカード)
- 備考:AVBカードはそれぞれ2枚装備
STAGE64はSRIを2枚ずつ追加
マイク/ライン入力は全てシェア可能
コンソール出力は、STAGE64もしくは
SRO/DSOカード単位で個別に設定可能

■ Config#5



- 16C/24C サーフェイスを使用する場合
- 最大入出力:48入力+24アナログ+12AES出力
- 必要機器:3台のSTAGE16
- 必要OPT:1xAVBカード
- 備考:AVBカードは1枚追加が必要

消費電力

以下は、一部モデルの消費電力です。

S6L-32D Power Measurements, 110V/60Hz

Parameter	Measurement	Units	Accuracy (±)	Notes
RMS Input Voltage	110	VAC	0.05% + 0.25V	
Frequency	60	Hz	0.1% ± 1 digit	
RMS Input Current	2.425	A	0.1% + 0.15A	
Peak Input Current	61.188	A	0.2% + 0.5A	Internally limited by AC supply
Crest Factor	1.64		1.5%	
VA (Reactive) Power	267.8	VA	0.15% + 9 VA	
Real Power	257.8	W	0.15% + 9 W	
Power Factor	0.97		0.03	
Current THD	20.65	%A		EN61000-3-2 Class A compliant

E6L-192 Engine Power Measurements, 110V/60Hz

Parameter	Measurement	Units	Accuracy (±)	Notes
RMS Input Voltage	110	VAC	0.05% + 0.25V	
Frequency	60	Hz	0.1% ± 1 digit	
RMS Input Current	2.157	A	0.1% + 0.15A	
Peak Input Current	52.023	A	0.2% + 0.5A	Internally limited by AC supply
Crest Factor	1.66		1.5%	
VA (Reactive) Power	237.3	VA	0.15% + 9 VA	
Real Power	226.7	W	0.15% + 9 W	
Power Factor	0.96		0.03	
Current THD	18.77	%A		
RMS Input Voltage	110	VAC	0.05% + 0.25V	

Stage 64 I/O Rack Power Measurements, 110V/60Hz

Parameter	Measurement	Units	Accuracy (±)	Notes
RMS Input Voltage	110	VAC	0.05% + 0.25V	
Frequency	60	Hz	0.1% ± 1 digit	
RMS Input Current	1.829	A	0.1% + 0.15A	
Peak Input Current	52.023	A	0.2% + 0.5A	Internally limited by AC supply
Crest Factor	1.59		1.5%	
VA (Reactive) Power	201.0	VA	0.15% + 9 VA	
Real Power	197.0	W	0.15% + 9 W	
Power Factor	0.98		0.03	
Current THD	18.73	%		EN61000-3-2 Class B compliant

Avidについて

Avidはプロフェッショナル向けにデジタル・オーディオおよびビデオ・テクノロジーを提供する、世界をリードするプロバイダーです。25年以上にわたり、Avidソリューションは、アカデミーやグラミーをはじめとする数多くの受賞作品（映画、音楽）をはじめテレビ番組から多くの視聴者を集めるライブ・コンサート、ビデオ、ニュース番組まで、世界中が観て、聴いて、愛するメディアを制作する業界トップのプロフェッショナルを支援してきました。

メディアの制作・管理から、配信、コンテンツのトラッキング、収益化に至る、メディア・バリュー・チェーンのあらゆる側面に対処し、放送、ビデオ、オーディオのプロフェッショナルを視聴者とより強固に繋げ、効率的に協業してメディア・コンテンツの収益化を可能にします。

革新的なソリューションで作品制作技術に革命をもたらしているAvidは、これまでに2つのアカデミー賞（Oscar®）、グラミー賞（Grammy®）、14のエミー賞（Emmy®）をはじめとする数百の賞を獲得しています。

クリエイティビティに刺激を

Avidライブサウンド・ブログ（avidblogs.com/ja/livesound）では、ビジネスをリードするAvidの市場洞察、アドバイス、ヒントなどをご紹介します。

詳しくは www.avid.com/S6L をご覧ください。

AVID VENUE S6L のお問い合わせ、システムの御相談、お求めは以下の正規認定ディーラーへ御連絡下さい。

AVID VENUE シリーズ国内正規販売元 / AVID ライブサウンド・サポート・パートナー



リワイアー株式会社

〒225-0025 横浜市青葉区鉄町8-24

TEL : 045-482-6077 FAX : 045-482-6078 www.rewire.co.jp



アビッド テクノロジー株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル4F

Avid Live Sound distributor (日本国内総代理店)

AUDIO))) BRAINS

株式会社 オーディオブレインズ

〒216-0034 神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷3-1

注：本パンフレットに記載の情報および仕様は予告なく変更されることがあります。

© 2018 Avid Technology, Inc. All rights reserved. 製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。Avid、Avid Everywhere、D Show、Pro Tools、およびTrue Gainは、アメリカ合衆国あるいはその他の国におけるAvid Technology, Inc.の登録商標または商標です。文中に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。Oscarは、

Academy of Motion Pictures Arts and Sciencesの商標およびサービスマークです。Emmyは、ATAS/NATASの登録商標です。Grammyは、The National Academy of Recording Arts & Sciences, Inc.の商標です。iPadは、Apple Inc.の登録商標です。VS6LB011